



【弘前市】期間中いつでも

## 39:ゆめみるこぎん館で古作こぎんに想いを馳せる



「名も無い津軽の女達よ、よく是程のものを遺してくれた。」民藝運動の父と呼ばれる柳宗悦は、こぎん刺しをみて、このような言葉を残しました。

津軽の厳しい冬の寒さをしのぐために生まれたこぎん刺し。津軽の女性たちは、満足な明かりもない中、時間を見つけては家族のためにこぎんを刺したと言います。

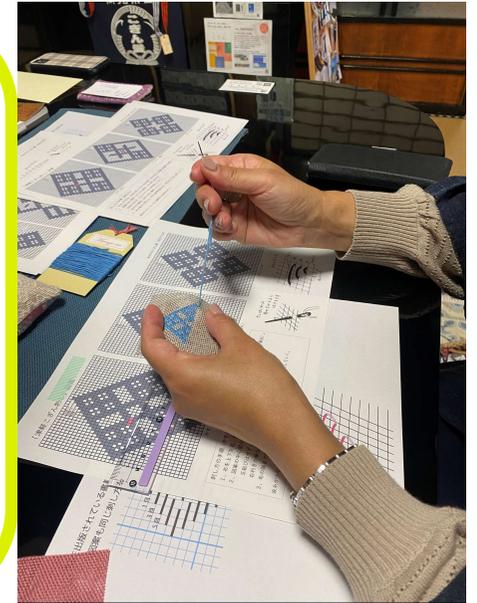
ゆめみるこぎん館では、そんな古作こぎんを間近で見ることができるほか、「モドコ」（こぎん刺しの模様のこと）に込められた意味などを楽しくクイズ形式などで学ぶことができます。

また、古作こぎんだけでなく、現代風のカラフルなこぎん刺しも！ファッションとして昇華したこぎん刺しの「今」に触れることもできます。

たくさんのご来館お待ちしております♪

### 注目ポイント！

古作こぎんをじっくりと見ていると、実はところどころに刺し間違いがあることがわかります。でも昔の人はそれを「味」として楽しみ、様々な手法でカバーしました。そんな「技」を見ることもできます。



- 時:10:00~17:00 (0.5~2時間) ■場:ゆめみるこぎん館
- 料:(見学)1000円、(体験)1500円、(見学と体験)2000円
- ※:当日もOK! ↓お申し込みはこちらからも可能です↓  
<https://www.instagram.com/maiko.ishita/> (インスタグラムDM)
- 予/問:TEL:090-5194-1278 Mail: maikoishita@gmail.com
- ア:弘南バス「岩木庁舎前」から徒歩5分